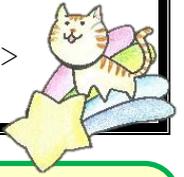


# スターと通信

## ★第9号=9月議会号★

発行日：2025年（令和7年）10月  
発行：星 恵子後援会  
石川町字松木下 19 の2<猫啼区>  
TEL&FAX：0247-26-1473



### 星 恵子議員 3年目に突入！ 後援会長 酒井 文

9月になっても異常な暑さが続きました。ようやく朝夕に秋を感じられるようになりました。「暑さ寒さも彼岸まで」正にその通りです。日頃より星議員を支えてくださっている皆さまに、心より感謝申し上げます。

さて、後期2年の星議員の所属は、文教厚生常任委員会（副委員長）、広報常任委員会、議会運営委員会となりました。さらに、石川地方生活環境施設組合の石川町議員に欠員が生じたことから、星議員が指名されました。以前より自分の地区内にある施設組合に関わることを望んでいました。今後の活動に期待します。9月定例会での一般質問、今回もまた時間いっぱい使っての真摯なやり取りが見られました。星議員は、「傍聴者がいると励みになる」と言います。次回の12月定例会の一般質問を傍聴してみませんか。

いよいよ議員生活後半に突入した星議員、後援会としてしっかり支えていきたいと思えます。今後も変わらぬ皆様のご支援をよろしく願いいたします。

#### 流れ星の4つの尾

- いのち
- からだ
- こころ
- 平和

70周年ロゴマーク



### 5町村の女性議員、初顔合わせ

6月27日、5町村の女性議員7人（石川町・玉川村・平田村）が、玉川村のマーヴェラス末広に集まりました。自己紹介に続いて、それぞれの議員としての思いやそれぞれの議会の状況などについて紹介し合いました。

今後も、定例会終了後に定期的に集まり、情勢の共有や情報交換を行うことを確認し合いました。女性を取り巻く課題の共有化や、議会に対する提案などにもつながれたらと考えています。

**趣旨採択**：意見書の提出は行わないが、議会としてその趣旨の理解と賛同を示し、今後の行政運営に配慮していくことを意味する。

### 臨時会：継続審査の陳情2件、趣旨採択！

6月定例会では、①『「選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書」の提出』、②『「女性差別撤廃条約選択議定書のすみやかな批准を求める意見書」の提出』の陳情2件が、文教厚生常任委員会での継続審査となりました。この間2回常任委員会を開催して審議を行い、“趣旨採択”（左記の説明参照）となりました。

7月22日の臨時会において、継続審査結果が報告され、①の審議内容への質問がありました。討論では反対意見はなく、①②とも“趣旨採択”となりました。

①については、憲法第13条や第24条に照らして、「慣れ親しんだ氏名を生涯使い続けたい」「“結婚”という人生の重要な選択が尊重される法制度にしてほしい」など、だれでもが平等に幸福を追求できるよう、真摯に向き合う時期にきているのではないのでしょうか。

### 星のつぶやき



石川町の公式アカウントです

↑一般質問しました。  
ぜひ登録してみてください。

★7月20日実施の参議院選挙から、石川町の投票区が21から7つに再編されました。期日前投票所が役場が変わり、2か所を共通投票所に指定したり、6か所に移動期日前投票所を開設したりするなど、対策が取られました。今回の投票区再編の検証を、注視したいと思います。

石川町の投票率は62.08%で、前回より+0.52%でした。全国58.52%、福島県58.39%から見ると、数値的には高いといえますが、約4割の方が投票していません。選挙には、国民一人あたり90万円以上の税金が使われるといえます。「選挙権」という国民主権の重要性を、子どもの時から学んでいく主権者教育が大切だと、改めて感じました。

★いつ頃からか、「女優」という言葉が使われなくなりました。多様性が重視されるようになり、性別で区別する必要がなくなったのかもしれませんが、不必要に分けることが、差別や偏見につながる可能性があります。違いを強調するより、互いの良さを大切にできる方が幸せですね。

★お母さんと4歳くらいの子に出会いました。Tシャツの背中の文字が目にとまりました。Peace Peace Peace Loves = 親御さんの平和への思いが伝わってきて、思わず「Nice！」と声をかけてしまいました。うれしそうに去っていく親子。幸せな空気が流れていきました。

★一般質問から＜その1＞

「第1期石川町子ども計画」の実効化に向けた取り組みについて

(1) 子どもの権利条例制定の見通しについて

町長：基本目標1「こども若者の権利を尊重し、活躍を支えるまちづくり」の重要な取り組みとして位置づけており、令和11年度末までの制定をめざし、丁寧にとりくみます。

星：「権利とは、生まれながらにして、安心して生きていくために、全ての人に等しく保障されるものであり、義務や責任を伴うものとは別のものであること」に留意してほしい。

教育長：「すべての子どもが生まれながらにして持っている権利」と捉えて、学校では指導していると思っています。

星：石川小学校の6年生と保護者へのCAPのワークショップが行われる。権利についても丁寧に扱っている。県の事業として今年度も予算化されている。認定こども園や中学校などにも拡げられたら、また来年度も教育課程に位置付けてほしい。

教育長：どの学年で実施するかは未定ですが、中学校での実施についても学校と話し合いをしていきたいと考えています。

星：ユニセフの「幸福度」調査では、日本の子どもの「身体的な幸福度」は43カ国中トップだった。しかし、高い自殺率や親子の会話の頻度が最低だったことなどから、「精神的な健康度」は32位と低迷した。子どもの最善の利益、最大の幸福を考えて条例制定を進めてほしい。

(2) こどもの意見表明会議の実施について

町長：こどもたちが自分の体験や意見をもとに権利について考え、学ぶ機会を提供するとともに、こどもたちの生の声や考えを掘り下げ収集したいと考えています。事業採択となった場合は、年度内の開催に向けて本格的な準備を進める予定です。

星：5月に、議場において「中学生会議」が行われた。町長の率直な感想をうかがう。

町長：自分の生き方や将来のこと、どんな社会だったらいいのか、自分たちも参画できるんだと思ってもらったのではないかと。非常にいい機会だったと思っています。

星：「中学生会議」を経験した生徒の、実施前と実施後の「政治に関する興味」を比較すると、「興味がある」が約2.2倍高まった。義務教育における主権者教育の体験は、主権者としての意識を育てたり、石川町への愛着や興味関心につながったりするのではないかと。

教育長：自分の考えや思いを堂々と発表し、町長が真摯に答弁、大変意義のある子ども議会であったと感じています。

星：10代の若者が弁士として将来を熱く語ったという、本町の自由民権運動の歴史的背景も参考になるのではないかと考える。

石川町の魅力化や知名度アップに向けた取り組みについて

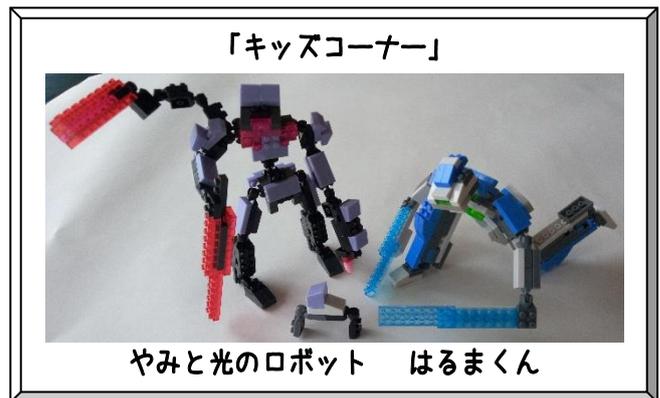
(1) 「石川町民の歌」の扱いについて

町長：昭和49年9月制定。町民の連帯や調和を深め、主体的に地域や町にかかわろうとする当事者意識、シビックプライドの醸成にも寄与するものであり、今後も町や関係機関の行事等において歌い継いでいかなければならないものだと考えています。

星：「知らない」「聞いたことがない」という声が多い。合併70年の今年、多くの町民に「町民の歌」を知ってもらうことは、町への愛着や所属感につながるのではないかと。広報無線は使えないか。

町長：デジタル化によって広報無線の音声をやめたところ、好評との意見ばかりでした。目的はわかりませんが、配慮が必要になると思っています。

星：期間限定でもいいので、何らかの形で町民の皆さんに「町民の歌」が届くようにできないか、考えていただけたらありがたい。



＜令和6年度（2024年度）決算および令和7年度補正予算＞

令和6年度の一般会計及び特別会計の決算の総額は、歳入127億3,514万7,000円、歳出122億5,948万7,000円で、黒字でした。財政健全化を示す「実質公債比率」（収入に対する借金返済額の割合）は、3ヵ年平均で6.3%で、前年度比で0.3ポイント上昇しましたが、健全な範囲でした。

令和7年度の一般会計補正予算は、1億5,179万6,000円を追加し、98億9,756万8,000円となりました。

なお、詳しい決算審議結果および決算審査報告については、11月配布の広報いしかわや議会だよりでお確かめください。

＜令和6年度の入札執行の概要＞

町は、第三者委員会を設置し、官製談合の原因究明と再発防止に向けた提言を受けるとともに、7月入札を再開しました。

- ①制限付一般競争入札：8件
  - ・3億1,420万3,450円：平均落札率91.47%
- ②指名競争入札：44件
  - ・3億1,808万2,985円：平均落札率90.22%
- ③①+②：合計52件
  - ・6億3,228万6,435円：平均落札率90.84%

※昨年度の平均落札率は、93.1%でした。

**(2) 知名度アップに向けた取り組みについて**

**町長**：昨年度から町の物産品や文化・観光資源の魅力、行政情報等を発信するプロモーション活動を、県内外で積極的に実施してきたところです。

**星**：駅前観光案内板は、設置された当時のままで、イシニクルや重謙屋敷などの表示がない。観光に関してスピーディーな対応がほしい。

**企画商工課長**：今年度中に訂正できないか、係と協議を進めているところです。

**星**：マグネットシートやラミネートを工夫して、公用車をPRに使う方法もあるのではないかと。平山副町長の、県の観光産業振興での経験を大いに活かしていただきたい。

**(3) 町のホームページの充実について**

**町長**：町HPには、行政情報を知らせる役割と、幅広く町の魅力を発信する役割があると考えます。令和4年度より町公式LINEアカウントを開設。様々な情報発信の方法を模索しながら、より効果的な活用について検討していきます。

**星**：行政区に加入していない世帯はどのくらいか。

**総務課長**：3割ほどが未加入の状態にあります。

**星**：行政区に加入していない世帯では、町の情報をHPから得ている人もいると思う。HPへのアクセス数や、LINEの公式アカウントの登録者数はどのくらいあるのか。

**総務課長**：町のHPには、毎月1万アクセス前後で推移しています。LINEの公式アカウント登録は、2年4か月で、1,490件となっています。

**星**：紙媒体と合わせて、HPの充実も図りながら、「心に届く」情報の提供をお願いしたい。

**本町の環境整備と保全について****(1) 旧町内の歩道整備について**

**町長**：ラバー舗装は県が整備したのですが、老朽化や段差やひび割れがみられ、県からは、劣化の激しい箇所から順次アスファルト舗装に切り替えるなどの修繕したい旨の回答をもらっています。

**星**：歩道は、利用者の安全が第一。町民の声を聞きながら、適切な対策を講じてほしい。

**(2) ペットの飼い方の啓発と対策について**

**町長**：関係法令に基づき、県動物愛護センターと緊密に連携しながら、動物の適正な飼養に関する啓発と対策を総合的に推進しています。今後も、人と動物との調和の取れた共生社会をめざす動物愛護施策を推進していきます。

**星**：あさひ公園で、野良猫に襲われた方がいた。近くには遊具もあり、子どもが襲われないか心配する声もある。

**防災環境課長**：個別調査を行い、地区を限定しながら適正な飼い方について、チラシ配布や啓発に取り組んでいるところです。

**星**：動物も「いのち」は一つだ。生き物を大切に考えるからこそ、ルールやマナー、動物との距離についてしっかりした共通理解や啓発が必要と考える。

**(3) 環境の美化や保全の対策について**

**町長**：行政区や各種団体と連携し、環境美化やボランティア活動への支援、町民の意識向上に努めてきました。「ゴミステーション美化整備事業」を開始し、行政区に対し、整備費の支援を行っています。

**星**：広報いしかわの9月号に、9月は「不法投棄防止月間」とあった。駅前の駐車場に、長い間放置されたままの軽自動車がある。どのように対応していくのか。

**防災環境課長**：所有権の問題もありますが、石川駅と野木沢駅駐車場にある放置自動車について、顧問弁護士と協議し撤去について進めていきたいと考えています。

**星**：不法投棄は、法的には土地の所有者が処理しなければならない。環境の美化や保全に対しては、早期発見や情報提供が重要、定期的パトロールに加え、行政区長会議でも問題を共有してほしい。

本町が「石川町民の歌」の歌詞のように、「歴史の町」「のびゆく町」「こころの町」であることを願っている。

**7/29：石川小教職員CAPワークショップ**

9月24日の保護者および6年生に実施するCAPのプログラムによるワークショップに向け、教職員向けワークショップがクリスタルホールで行われました。講師はCAPこおりやまの皆さんです。

12月定例会の一般質問で提案し、石川町では初めて学校で実施されました。今定例会で次年度の実施も要望しました。**※CAP(子どもへの暴力防止)**

**=会いに行きました！②=**

「石川町って、美容院が多くない？」という素朴な思いから、有賀美容院の有賀クニ先生を訪ねました。「身だしなみに気を付ける女性が多いからかな」とのお返事、なるほど！

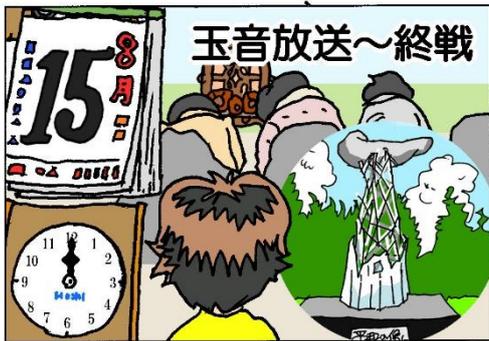
花嫁衣裳の着付けに定評がある有賀先生。式場を掛け持ちで回ったこと、50歳を過ぎて自動車の免許を取ったことなど、話は尽きませんでした。

これから「まちなか」がどうなっていくのか心配だと、町の将来への思いを話されました。



# 戦後80年、やっぱり平和!

by Monster 松



## ＝子どもたちの明るい未来のために＝

初任教員2年目のことです。いつ教員をやめようかと考えたことも正直ありました。そんな私が、38年間教員を続けることができたのは、ある小さな出来事があったからです。

毎日の学級朝の会の中で、お知らせ以外に、新聞で読んだことやテレビで見たこと、ラジオで聞いたことなどを話すことを心がけていました。子どもたちの反応は、さまざまでした。時には、何を話したらいいか悩むこともありました。そんなとき、ある保護者が、こんな話を私にしてくれました。

「うちの子、夕食の準備をしているときに、朝の会で聞いた話を聞かせてくれたんです。あの子夢中になって話してくれて。こんなことは、めったにないんですよ。」それを聞いて私は、自分の話がちゃんと子どもたちに届いていたことを知りました。親子の会話を想像しながら、なんだかたまらなくうれしかったことを覚えています。38年たった今でも、そのときのことが忘れられません。教員を続けられたのは、こんな小さな出来事の積み重ねがあったからなのだと思います。(S.E)

## リチウムイオン電池に注意!

軽くて繰り返し充電できることから、スマホやゲーム機器、ハンディーファン(携帯用扇風機)などに使われているリチウムイオン電池ですが、各地で発火や破裂が報告されています。

**リチウムイオン電池は、高温や衝撃によって発火の恐れが高まります。充電の際も、高熱になっていないか注意が必要です。**国は、全国各地であいつぐ発火や破裂を受け、回収方法の検討や対策を進めています。まずは使用する人が、商品の取り扱い方や充電時に気をつけることが大切です。

\*\*\*\*\*  
※「資源化が重要と考えるのであれば、『資源ごみ』という表現や表記は変えた方がよいのではないか」というご意見をいただきました。同感です。関係当局に伝えました。



石川町出身の小川浩さんの絵画展が、イシニクルにおいて二度にわたって開催されました。丁寧に展示作品を解説していただき、自然美を追求されていることがとても伝わりました。役場やモトガッコで、寄贈いただいた作品を鑑賞することができます。

## おもしろ発見!



当町にあるたばこ屋さんの店先に並びマスコットたち。首が動いて、見ていて楽しいです。後ろは、ペコちゃん人形。昭和のなつかしさを感じます。昭和の